



### 小屋瀬中学校 4/9～11・東京都ほか

今年も銀座の「いわて銀河プラザ」で、くずまき高原牛乳やヨーグルト、チーズなどの試飲販売やモウモウ音頭の踊りで町をピーアール。「岩手県のくずまき高原牛乳おいしいよ」と、お客さんの呼び込みも恥ずかしがらず、大きな声で積極的に行いました。



## 中学生の修学旅行

春は修学旅行シーズン。町内三つの学校でも、入学式を終えて数日後、それぞれ東京方面へ旅立ちました。楽しみにしていた修学旅行で、仲間の輪を広げることも、職場体験や町のピーアールなどを体験した中学生たち。学校ごとの取り組みを紹介します。

### 江刈中学校 4/15～17・東京都ほか

初日に国会議事堂を見学。見学者待合室の模擬議席に着席して、国会議員の気分を味わいました。翌日は自主研修で都内八王子市や神奈川県横須賀市まで出かけたグループも。初めての大会でしたが、自分たちの力で行動しました。電車の遅れなどで集合時間に間に合わなかったグループは、「焦っちゃった」と冷汗しきり。たくさんの経験をした修学旅行でした。



### 葛巻中学校 4/17～19・東京都ほか

二人ずつのペアで体験や見学の自主研修。ラーメン屋やケーキ屋など、都内のあちこちに出発。慣れない仕事でごちない場面もありましたが、スタッフのていねいな指導で、楽しい研修になりました。豪雨のため電車が遅れ、予想以上のラッシュも経験しました。

### 懐かしい顔と思い出話 45年ぶりの修学旅行で

2回目の修学旅行で中学時代へタイムスリップしたのは、葛巻中学校第15回卒業生の皆さん。平成18年8月、グリーンテージでの還暦祝いで盛り上がった同級生たちは、「今度は東京で会いましょう」と3月23日、28人が東京に集合。町内をはじめ県内からは14人が駆けつけました。恩師の千田（旧姓・倉田）淑子先生（東京都在住）の喜寿のお祝いも兼ね、45年ぶりの再会を喜びました。お世話役を引き受けた長岡功さんは、「集団就職列車や中学時代の思い出話で、心は一気に中学生。今後も旧交を温める機会をつくりたいですね」と、次の計画に思いを巡らしています。



東京で行われた葛巻中学校第15回卒業生同級会



高齢者救助で吉田聖岩手警察署長から感謝状を受け取る村木さん（右）

### 森林組合の村木さんに 人命救助で感謝状贈呈

行方不明になった認知症気味の高齢者を発見、救助した森林組合職員の村木享慈さん（51・田子）に4月14日、岩手警察署長から感謝状が贈られました。村木さんは、3月29日の夕方に行方が分からなくなった町内の高齢者男性を、翌日早朝から消防団や地区の人たちと捜索。森林組合の仕事で地理を熟知している村木さんは、通行止めの林道を捜索中、草地に倒れていた男性を発見し自家用車で葛巻病院へ運びました。発見された高齢者は一命を取り留め、村木さんは「幼なじみのお父さんを、助けたい一心でした」と、ほっとした表情で振り返っていました。

### まちの防犯に強い味方 青パト配備で安心だね

青色回転灯防犯パトロール車（青パト）の出発式が4月1日、役場前で行われました。町防犯指導隊（土谷典雄隊長・隊員10人）と町交通指導隊（緑川猛雄隊長・隊員10人）が町で初めて県警から認定を受けたもので両隊員が出席。吉田聖岩手警察署長から土谷隊長と緑川隊長に青色回転灯装備車証が交付されました。出席した隊員らは「防犯活動に強い味方登場。一層安全・安心に向けて取り組みます」と決意を新たにしました。



交通安全指導車に青色回転灯を設置し出動準備完了したパトロール車



第29期町山地酪農研修センターの入所式は4月7日、葛巻交流館プラトーで行われました。研修生5人のうち2人が新たに入所。研修生を代表して、栃木県那須町出身で、両親の経営する牧場が葛巻高原牧場に育成牛を預託している渡邊佳誉さん（21）は、「夢の実現のため頑張ります」と決意を述べました。

### 夢の実現に向けて努力 酪農研修に5人が入所



山火事防止月間中の4月16日、林業関係者や消防団の車両など21台が参加して山火事防止パレードを実施。「山火事は 地球も未来も 燃やします」と、統一標語を掲げて町内3方向に分かれてパレード。「山でのたばこの投げ捨てはやめましょう」と、呼び掛けました。

### 山火事の多い季節です たばこの投げ捨て注意